



会津に伝わる茶道石州流

— 石州流とは？ —

大和小泉二代藩主である片桐石州公かたぎりせきしゅうを流祖としており、初代会津藩主保科正之公ほしなまさゆきが四代将軍徳川家綱の茶道指南役として石州公を推挙したことにより武家を中心に広まりました。

石州の茶は完全相伝(※)の為、各派に分かれていますが、それぞれ大名の風格と気品に満ちた茶風を現在でも伝承し続けています。

※ 完全相伝とは、許状発行資格まで教授者に与えてしまうことであり、家元が許状発行する今の家元制度を不完全相伝と言う。

不完全相伝により「親から子へ」と家元を引き継いだ代表が千家流で、完全相伝のまま「師匠から弟子へ」の伝授方法の代表が石州流である。

— 会津における石州流の歴史 —

保科正之公自身も石州公に茶の湯を学んでおり、また家臣の橋爪相伴はしづめそうぼんを入門させ、まさかた伝授を受けさせたことから始まります。三代正容公も家臣の飯東林清いけいそうえつを怡溪宗悦和尚のもとで伝授を受けさせ、自らも学び会津怡溪と称し藩内に広めました。

戦後、会津怡溪派に伝授の混乱(許状発行者の消滅)があり、昭和34年片桐石州公の直系である奈良の石州流宗家の傘下に入ることになり、会津支部が結成されました。

以来65年以上にわたり、地元の茶会や宗家での茶席担当、月に1回ほど茶道研究会を開き、研鑿を積むなど武家茶道の普及に努めております。

～ 茶道教室のご案内 ～

会津に伝わる武家茶道と一緒に学んでみませんか？

月1回から初められる方もいらっしゃれば、着物でお茶の雰囲気味わいたい方また、本格的に学ぶことも可能です。

茶道 WORK SHOP も開催していますので、お気軽にお問い合わせください。



HP



Instagram

ホームページ、Instagramからも最新情報をご覧いただけます。

【お問い合わせ】 茶道石州流宗家 会津支部 事務局

Tel:090-4311-1595

Mail:sekisyuaizu@gmail.com